

---

令和元年度

経済産業省・資源エネルギー庁 公募型  
「原子力の安全性向上を担う人材の育成事業」  
採択テーマ

---

最新の社会心理学的知見を取り入  
れたリスク・コミュニケーター研修

## 受講者募集案内

令和元年 9 月

公益財団法人 原子力安全技術センター

令和元年5月、経済産業省資源エネルギー庁の「令和元年度原子力の安全性向上を担う人材の育成事業」の公募において、公益財団法人原子力安全技術センターが採択されたものです。

本事業では、「原子力の自主的安全性向上の取組の改善に向けた提言」（平成27年5月27日）の7頁にある「特に、東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえ拡大された原子力災害対策重点区域に、新たに含まれることとなった地域住民とのリスク・コミュニケーションのあり方について具体化が急がれる」とことと目的を合致させ、リスク・コミュニケーションを実施する能力を備えた人材を育成します。当センターはその一環として、リスク認知に関するヒューリスティック等の新知見をカリキュラムに取り入れた「最新の社会心理学的知見を取り入れたリスク・コミュニケーター研修」を、継続実施（平成30年度から継続）するものです。

## 1. 目的

福島第一原発事故を踏まえて拡大された原子力災害対策重点区域に、新たに含まれることになった地域住民等（以下「外部ステークホルダー」という。）とのシビアアクシデントを想定したリスク・コミュニケーションに関わっているか、これから関わろうとしている人材を対象（原子力分野以外の人材も育成対象にします）に、リスク・コミュニケーションに必要なカリキュラムを作成し、研修を継続実施することにより、その能力を備えた人材を育成することを目的とします。

## 2. 本研修の概要

(1) 受講料：無料

(2) 重点項目

- ① 低線量放射線被ばくと健康影響（放射線生物学の観点）
- ② リスク・コミュニケーションの実際（社会心理学の観点）
- ③ ラポール（信頼）の形成法（臨床心理学の観点）

(3) 対象者

- ・リスク・コミュニケーションに関わっているか、これから関わろうとしている人材
- ・さらに有益な取り組みとするため、原子力分野以外の人材も対象
- ・リピーターも歓迎

(4) 難易度

環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」が読めるレベル

(5) 定員

20名程度／各回

(6) カリキュラム

別添1に「研修カリキュラム」を示します。

(7) 開催場所 (計5回開催)

回数	開催日	会場	申込締切日
第1回	令和元年11月7日(木)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 5階会議室	10月31日
第2回	令和元年11月22日(金)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 5階会議室	11月14日
第3回	令和元年11月28日(木)	東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学薬学部 神楽坂キャンパス 3号館7階	11月21日
第4回	令和元年12月18日(水)	東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学薬学部 神楽坂キャンパス 3号館7階	12月12日
第5回	令和元年12月25日(水)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 5階会議室	12月19日

※ご都合のよい日をお選びください。

(8) その他

- ・当センターから、旅費の支給はありません。
- ・昼食は各自でご用意頂くか、近隣の施設をご利用ください。
- ・乗用車をご利用になる場合は、各自で駐車場の確保をお願いします。

3. 受講申込要領

(1) 申込締切り 2. (7)開催場所の申込締切日を参照ください。

(2) 申込方法

別添2の申込票に必要事項を記入の上、4. 項の宛先に電子メール(またはFAX)で送付してください。申込が決定した場合、折り返し決定のご通知を返信いたします。なお、申込多数の場合、定員の範囲内で申込者の調整をさせて頂く場合がありますので、ご了承願います。

4. 申込先、問合せ先

研修の申し込み、お問合せは、下記にお願いいたします。

申込先、問合せ先  
公益財団法人原子力安全技術センター  
原子力安全部 調査研究グループ

電子メール : risk-comm@nustec.or.jp

電話 : 03-3814-7405 (受付時間 : 9:30~17:30)

FAX : 03-3814-7479

## 令和元年度 リスク・コミュニケーター研修 カリキュラム

時間	カリキュラム No.	区分	項目	内 容
10:00～ 10:30 (計30分)		合同	開講	開講、アンケート記入、イントロダクション
10:30～ 11:50 (計80分)	1	合同 講義	低線量放射線被ばくと健康影響	放射線生物学 ・放射線健康影響の基礎（復習） ・少し専門的な低線量放射線生物学 ・放射線疫学の基礎と、最新のトピック ・がんのゲノムに残された放射線の爪痕 ・質疑応答
11:50～ 12:50 (計60分)			お昼休み	
12:50～ 14:20 (計90分)	2	合同 講義	リスク・コミュニケーションの実際	社会心理学 ・リスク認知とリスク・コミュニケーションの基礎 ・リスク・コミュニケーションの成功事例 ・カルテット・ゲーム ・質疑応答
		合同 演習	カード・ゲーム	
14:20～ 14:30 (計10分)			休憩	
14:30～ 15:50 (計80分)	3	合同 講義	ラポール（信頼）の形成法とリスク・コミュニケーション	臨床心理学 ・リスク・コミュニケーションとは何か ・ラポールを形成するための話の聴き方（傾聴） ・グループワーク ～その1 ・振り返りの進め方 ・グループワーク ～その2 ・上手な傾聴の仕方 ・質疑応答
		合同 演習	グループ・ワーク	
15:50～ 16:00 (計10分)		合同	閉講	アンケート記入、閉講

※カリキュラムは、一部変更になることがあります。

## 講師候補者のご紹介（敬称略・順不同）

### ○イントロダクション

- ・世木田邦生：公益財団法人 原子力安全技術センター 原子力安全部 主幹

### ○講義 1（放射線生物学の観点）

- ・今岡 達彦：量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 放射線影響研究部 幹細胞発がん研究グループ グループリーダー
- ・飯塚 大輔：量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 放射線影響研究部 発がん動態研究グループ 研究統括

### ○講義 2（社会心理学の観点）

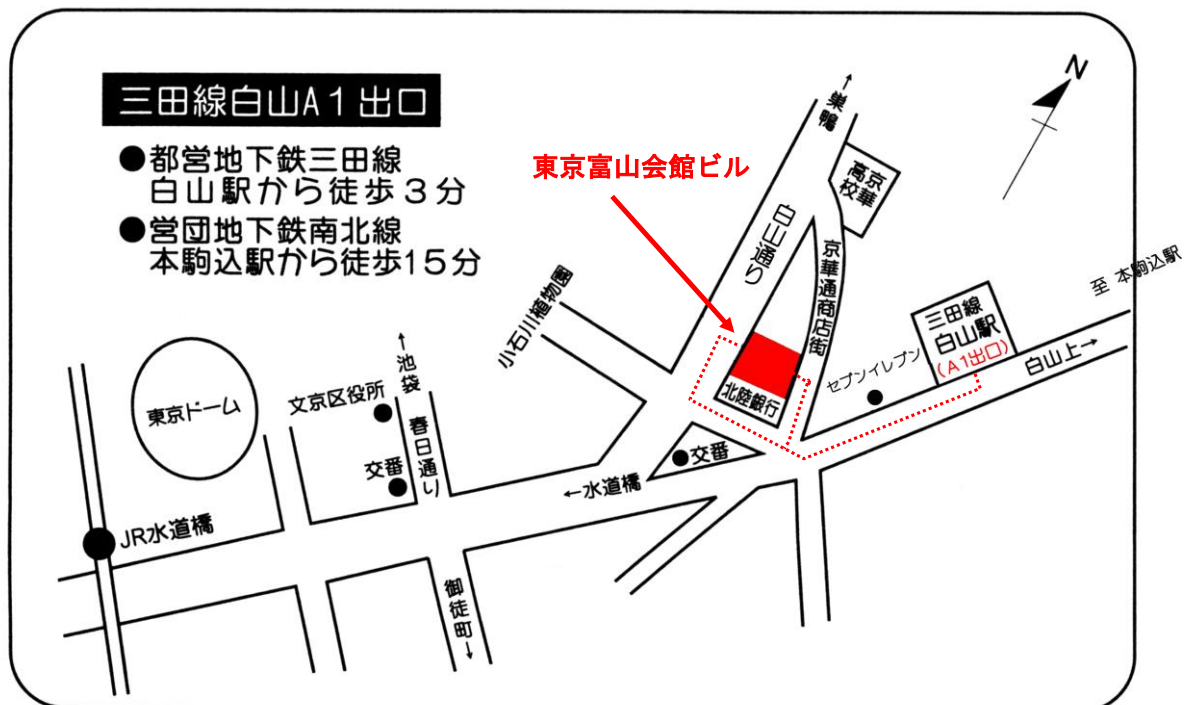
- ・堀口 逸子：東京理科大学 薬学部 医療薬学教育研究支援センター 社会連携支援部門 教授

### ○講義 3（臨床心理学の観点）

- ・岡田 昌毅：筑波大学人間系（心理学域）教授
- ・大塚 泰正：筑波大学人間系（心理学域）准教授
- ・飯田 順子：筑波大学人間系（心理学域）准教授

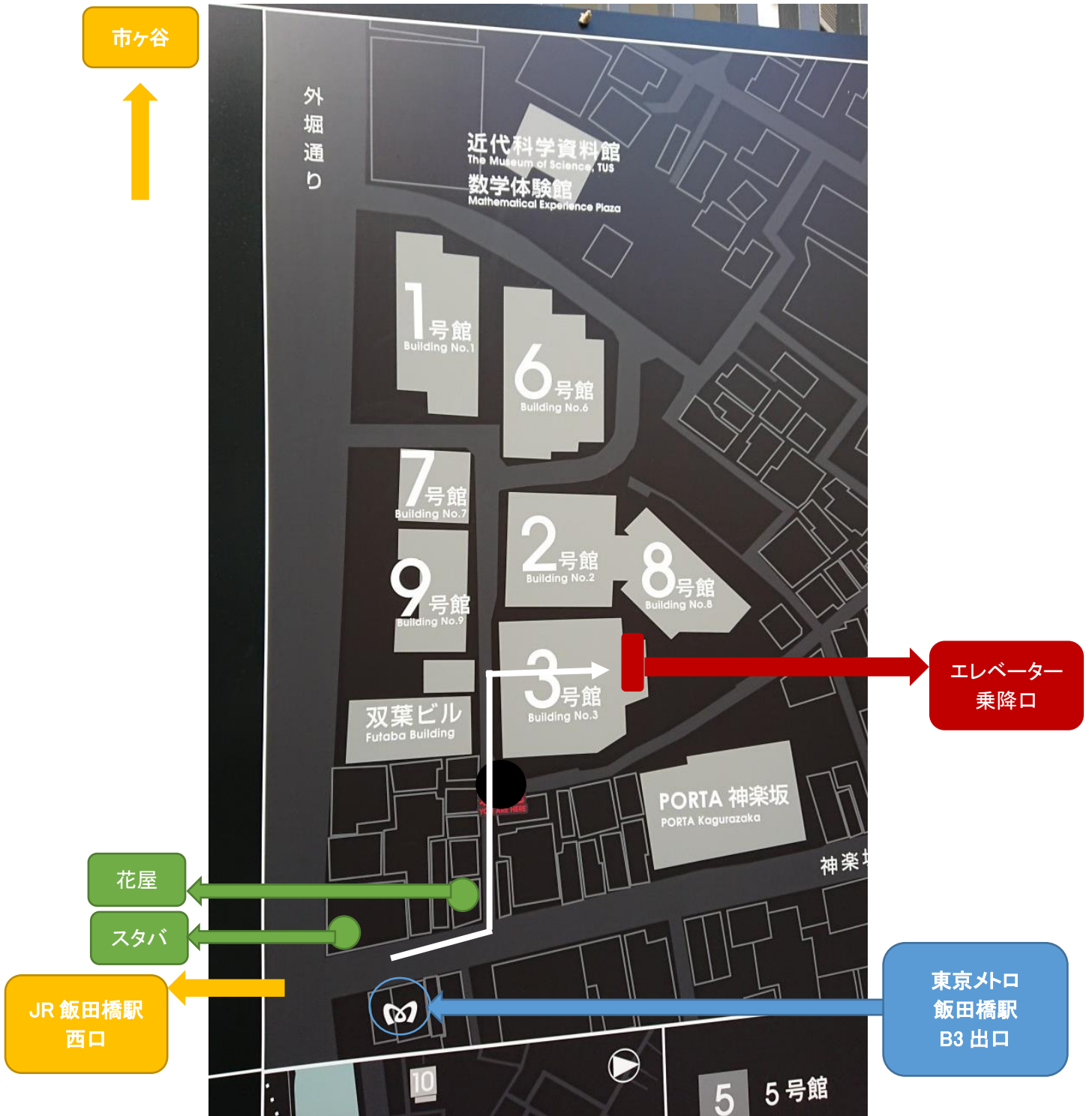
## 会場地図

- ・原子力安全技術センター（東京）



・東京理科大学 神楽坂キャンパス 3号館7階（東京）

東京メトロ飯田橋駅（B3 出口）、JR 飯田橋西口から  
研修会場（3号館7階右手奥）までの道順



以上